

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 海外展（助成）
- (5) 国内展（助成）
- (6) 造形美術情報交流（催し）

### 3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（トリエンナーレ）

## 人物交流事業費 (1) 受託事業

造形美術分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 4,624,185 円

	事業名	国	期間	事業内容
1	東アジアクリエイター招へい	インド インドネシア オーストラリア カンボジア シンガポール タイ ニュージーランド フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス	07.08.01～ 08.07.31	アジア・大洋州の13カ国から、アート、デザイン、ファッション等創造的な活動に従事する若手のクリエイターを日本に招へいし、制作や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図る。19年度は受入機関調査等、招聘準備を実施。

## 催し等事業費 (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 40,973,966 円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネツィア	カステロ公園 内日本館	07.06.10～ 07.11.21	コミッショナーに港千尋を迎え「わたしたちの過去に、未来はあるのかー The Dark Face of the Light」をテーマに岡部昌生のフロッタージュ（擦り取り）作品を中心に展示。あわせて、学生・市民とともにワークショップを実施
2	第13回バンガラデシュ・ビエンナーレ（準備）	バンガラデシュ				植松由佳（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員）をコミッショナーに、日本の現代美術を紹介。会期が2008年11月に延期されたため、本年度は準備業務のみ実施
3	第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展（準備）	イタリア	ヴェネツィア	ヴェネチア市 ジャルディーニ地区		五十嵐太郎（建築批評家、東北大学准教授）をコミッショナーに迎え、「EXTREME NATURE -SMALL PAVILIONS-」をテーマに、現代日本建築の最先端を紹介する。参加作家は石上純也（建築家）、大場秀章（植物学者）の両氏（平成20年度実施事業の準備業務）

## 造形美術事業費

### 催し等事業費 (2) 海外展(企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 240,586,764 円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアのキュビズム展 (パリ)	フランス	パリ	パリ日本文化会館	07.05.16～ 07.07.07	平成17年度～18年度にかけて、東京、ソウル、シンガポールで開催した同展を、キュビズム発祥の地パリにて展示。アジアで受容され独自の展開を遂げたキュビズムをフランスで紹介するとともに、アジアの文化的アイデンティティーの問題をより客観的に検証した。
2	わざの美展	英国	ロンドン	大英博物館 Hotung Gallery	07.07.19～ 07.10.21	人間国宝を中心とした日本の伝統工芸を代表する作家111名による、代表的な作品112点を展示。また会期中にワークショップ等の交流事業を実施した。
3	インドにおける現代美術展	インド	ニューデリー ムンバイ (ボンベイ) ムンバイ (ボンベイ)	ニューデリー国立近代美術館 チャットルジー・ギャラリー プロジェクト88	07.10.12～ 07.11.11 07.11.21～ 07.12.05 07.11.21～ 07.12.15	「消失点」というテーマのもとで、社会的背景や身体的条件を意識しつつ日本の現代美術を紹介した。
4	美麗新世界展	中国	北京 広州	インターアーツセンター 長征空間 (Long March Space) 東京画廊 (B.T.A.P.) 広東美術館	07.09.25～ 07.10.21 07.09.25～ 07.10.21 07.09.25～ 07.10.21 07.12.25～ 08.01.20	「美しきリアル・ワールド」「新環境」「世界の終焉と未来世界」という構成で、岡崎京子、大友克洋らのマンガ・アニメーションから、草間弥生、宮島達男、奈良美智等の美術作家にいたるまで、現代日本の多層的に広がる価値体系や創造性を浮き彫りにした。キュレータは片岡真実(森美術館)と住友文彦(東京都現代美術館)、キム・ソンジョン(インディペンデント・キュレータ、韓国)
5	H20日伯現代美術展(準備)					2008年にブラジルで、「ライフがフォームになるとき」というテーマのもとに日伯現代美術展を開催するための準備を行なった。
6	H20パリデザイン展(準備)					2008年10月～2009年1月にパリ日本文化会館で実施する展覧会「WA-和：今日の日本のデザインにおける調和の精神」展の準備業務を実施した。
7	H20日インドネシア美術展(準備)					2008年インドネシアで開催する美術展のための準備を行なった。

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
8	H18Rapt!- Contemporary Art from Japan (事後)					平成18年に実施した「Rapt!- Contemporary Art from Japan」の事後業務を行なった。

催し等事業費	(3) 海外展(巡回展)
--------	--------------

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に紹介する展示セットを海外諸国に巡回し、主催する。

合計額 129,568,760 円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	新世代アーティスト展	英国	ウォルヴァーハンプトン	ウォルヴァーハンプトン・アートギャラリー	08.03.01～ 08.04.26	モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の現代美術作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介
		スペイン	サンタクルス・デ・テネリフェ マドリード	カナリア金融公庫芸術ホール マドリード・ヨーロッパ・デザイン学校	07.09.04～ 07.09.25 07.10.04～ 07.10.31	
		ドイツ	ライプツィヒ	現代アートのスペース「シュピネライ」	07.11.15～ 07.12.20	
		エストニア	ハーブサル	ハーブサル文化センター	07.07.13～ 07.08.16	
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	バニャ ルカ サラエボ	RS現代アート美術館 コレギウム・アーティスティクム	07.06.05～ 07.06.15 07.06.21～ 07.06.30	
2	伝統陶芸展	米国	ラス・ヴェガス	南ネバタコ コミュニティカレッジ・シャイアンキャンパス・パフォーミング アーツセンター・ファイ ンアーツギャラリー	07.04.09～ 07.05.18	
		ワシントン	在米大広報文化センター	07.10.09～ 07.12.14		
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	ドミニカ人類博物館	08.01.31～ 08.03.12	
		メキシコ	ハラッパ	ハラッパ人類学博物館	07.07.27～ 07.09.09	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
3	写楽再見展	オランダ ギリシャ ブルガリア カタール 南アフリカ	ライデン アテネ ソフィア ドーハ プレトリア	シーボルトハウス メリナ メルクーリ文化センター 国立海外美術館 ユース・クリエティブ・アート・センター 国立文化歴史博物館	08.01.25～ 08.02.24 07.07.05～ 07.07.25 07.11.15～ 07.11.30 08.03.10～ 08.03.23 07.09.19～ 07.10.05	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵で有名な江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介
4	日本人形展E	ドイツ フランス アゼルバイジャン スロベニア セルビア モンテネグロ ルーマニア	ホフハイム・アム・タウヌス マーシー・レトワル リヨン バクー リュブリャナ ノヴィ・サド ポドゴリツァ ティミショアラ	ホフハイム・アム・タウヌス市ホール ラクロワ・ラヴァル博物館 織物・装飾博物館 アゼルバイジャン国立絨毯民族芸術博物館 スロベニア民族博物館 ヴォイヴォディナ博物館 モンテネグロ現代美術館 西大学造形美術学科マンサルダ・ギャラリー	07.04.01～ 07.04.15 08.01.18～ 08.02.10 08.02.20～ 08.03.16 07.06.01～ 07.06.30 07.09.13～ 07.10.24 07.12.05～ 07.12.16 07.11.15～ 07.11.27 08.03.28～ 08.04.20	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
5	日本人形展F	ベネズエラ ペルー ボリビア	カラカス リマ ラパス	コープバンカ文化センター 国立博物館 国立美術館	08.02.19～ 08.03.02 07.11.14～ 07.12.16 07.05.09～ 07.06.03	日本古来の風習に育まれた「雛人形」、「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」、「文楽・歌舞伎人形」、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
6	手仕事のかたち展	ノルウェー	リッレハンメル	マイハウゲン	07.05.29～ 07.06.30	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
		マケドニア	スコピエ	スコピエ市立博物館	07.09.29～ 07.10.14	
		アラブ首長国連邦	アブダビ	アブダビ文化財団	08.01.14～ 08.01.22	
		エジプト	アレキサンドリア	アレキサンドリア・セクター・オブ・アーツ	07.07.21～ 07.08.05	
			カイロ	ゲジーラ・アート・セクター	07.08.08～ 07.08.20	
		エチオピア	アデイスアベバ	エチオピア国立博物館	08.03.04～ 08.03.17	
		セネガル	ダカール	IFANアフリカ美術博物館	07.11.13～ 07.12.14	
7	日本のクレイワーク展	イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	07.05.23～ 07.07.06	50年代から90年代までのクレイワーク(陶を素材にした立体造形)の代表的な作家29名の作品44点を紹介
		フランス	マルセイユ	メゾン・ドゥ・ランチザナ・エ・デ・メチエ・ダール	08.03.06～ 08.04.05	
		クロアチア	ザグレブ	HAZU彫刻美術館	08.01.09～ 08.01.30	
			ヴァラジュディン	ヴァラジュディン市立美術館	08.02.02～ 08.02.24	
		チェコ	ブルノ	モラビア・ギャラリー	07.09.06～ 07.11.04	
		ベラルーシ	ミンスク	ベラルーシ共和国国立美術館	07.11.14～ 07.11.28	
			グロドノ	グロドノ国立歴史考古学博物館	07.12.04～ 07.12.18	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
8	日本の版画展	グアテマラ	グアテマラシティ アンティグア	近代美術館 ホテル・カサ・サント・ドミンゴ美術館	07.07.10～ 07.07.29 07.08.04～ 07.08.19	1950年代から90年代までの日本の現代版画を作家46名の作品75点を通じて紹介
		コスタリカ	サンホセ	カルデロン・グアルディア美術館	07.11.27～ 08.01.04	
		エクアドル	キト	エクアドル国立文化会館	08.02.06～ 08.02.29	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ日本人造りセンター	07.09.01～ 07.09.28	
		スペイン	サラゴサ	ホアキン・ロンカル・文化センター	07.05.10～ 07.06.02	
			アリカンテ	アリカンテ大学博物館	07.06.08～ 07.06.25	
9	こけし展B	米国	ポートランド	日本庭園	07.04.06～ 07.04.27	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介
10	自然に潜む日本展	タイ	バンコク	サイアムソサエティー	07.11.29～ 07.12.21	写真家・矢萩喜従郎の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介
			チェンマイ	チェンマイ大学アートミュージアム	08.01.09～ 08.01.31	
		ネパール	カトマンズ	在ネパール大使館多目的ホール	08.03.05～ 08.03.19	
		メキシコ	ハラッパ	ベラクルス州立大学美術学部	07.04.24～ 07.06.29	
		ウルグアイ	モンテビデオ	モンテビデオ県庁ホール	07.08.13～ 07.08.26	
			コロニア	コロニア県庁バステイオン・デ・カルメン劇場ホール	07.09.27～ 07.10.16	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
11	現代日本の陶磁器展	中国 タイ フィリピン  オーストラリア	香港 チェンマイ バギオ  ドウマゲッ ティ  マニラ  マニングハム  シドニー  サウス・パ ース  ブリズベン	香港大学美術 博物館 チェンマイ国 立美術館 タマワン・ アーティスト ト・ビレッジ シリマン大 学、ナショナ ル・プレス・ クラブ アヤラ美術館 マニングハ ム・ギャラ リー シドニー日本 文化センター ギャラリー ヘリテージ・ ハウス文化セ ンター クイーンズラ ンド工科大学 美術館	08.02.19～ 08.03.30 07.04.05～ 07.04.26 07.06.09～ 07.06.16  07.07.01～ 07.07.11  07.07.16～ 08.08.05 07.09.05～ 07.09.29  07.10.09～ 07.10.26  07.11.14～ 07.11.27  07.12.13～ 09.01.20	伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、 京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で 優れた作品を制作している若手作家の 作品を紹介
12	現代日本の工芸展	ロシア	ユジノサハリ ンスク ウラジオスト ク ハバロフスク  ノボシビルス ク モスクワ  サンクトペテ ルブルグ  アレキサンド リア	サハリン州立 美術館 アルセーニエ フ博物館 極東美術館  ノボシビルス ク国立美術館 ギャラリーベ リャエヴォ メンシコフ宮 殿（エルミ タージュ美術 館分館） アレキサンド リア美術館	07.05.17～ 07.05.31 07.08.31～ 07.09.30 07.10.17～ 07.10.31 07.11.09～ 07.11.25 07.12.06～ 07.12.23 08.02.19～ 08.03.02  08.03.27～ 08.04.14	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅 広い素材を用いて制作された工芸作品 を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥 のテーマに分類して紹介



造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
13	熊本アートポ リス展	韓国	済州	在済州日本国 総領事館 公 報文化セン ター	07.08.27～ 07.09.05	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
			釜山広域市	東西大学校 小郷ギャラ リー	07.09.11～ 07.09.20	
			全北	道立全北立美 術館	07.10.12～ 07.11.18	
			ソウル	在韩国日本国 大使館公報文 化院シルク ギャラリー	07.11.21～ 07.11.30	
		ベトナム	ホーチミン	青年文化会館	07.04.08～ 07.04.22	
			ハノイ	越日人材協力 センター	07.05.11～ 07.05.25	
		インド	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター	07.12.18～ 07.12.27	
			コルカタ	スワブミ・ヘ リテージ・プ ラザ	08.01.05～ 08.01.11	
			チェンナイ	ラリット・カ ラ・アカデ ミー	08.01.29～ 08.02.04	
			プネ	バルバレダル バ ラング マンデル (シ バジナガル)	08.02.11～ 08.02.17	
		ニュージーラ ンド	オークランド	ガス・フィッ シャー・ギャ ラリー	08.03.26～ 08.04.01	
14	スピリトを写 す展	インドネシア	バンドン	スラサール・ スナリヨ・ アートスペー ス	08.01.18～ 08.02.10	
			ジャカルタ	ジャカルタ日 本文化セン ター	08.02.29～ 08.03.16	
		マレーシア	クアラルン プール	セントラル マーケット アネックス ギャラリー	07.07.12～ 07.07.29	
			ベナン	ベナン州立美 術館	07.09.18～ 07.10.12	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
15	現代日本デザイン展	米国	タルサ	リチャードソン・アジア美術館	07.11.18～ 07.12.09	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介
		ニカラグア	マナグア	国立文化宮殿	07.09.26～ 07.10.16	
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ベルグラノーノ大学展示会場	07.08.01～ 07.08.21	
		コロンビア	メデリン	メデジン市立ベレン図書館	08.01.15～ 08.02.01	
			ボゴタ	ルイス・アンヘル・アランゴ図書館	08.02.06～ 08.03.23	
		チリ	サンティアゴ	チリ国立美術館	07.05.15～ 07.06.17	
16	90年代の日本絵画展	カナダ	トロント	国際交流基金トロント日本文化センター	07.05.10～ 07.07.31	
			バリー	マクラレーン・アートセンター／ロイヤル・ヴィクトリア・ホスピタル	07.08.16～ 07.10.08	
		米国	ローノーク	ウエスタン・バージニア美術館	07.11.08～ 07.12.31	
			アイダホ・フォールズ	東アイダホ美術館	08.01.18～ 08.03.01	
17	out of the ordinary/ extraordinary 展	米国	アナーバー	ミシガン大学附属美術館	07.06.16～ 07.09.16	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現。一日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
			ジャージーシティ	ニュージャージー市立大学附属美術館	07.10.11～ 07.11.16	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
18	日本の子ども 60年展	アイルランド  ヨルダン  アルジェリア  ガーナ  ギニア  ケニア	ダブリン	アイルランド 公共事業庁ア トリウム	07.05.18～ 07.07.04	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶ りをはじめ、戦後～現代にいたる日本 の60年間の歩みを振り返るという趣旨 のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の 写真家により撮影された子供達の写真 100点を紹介
			アンマン	ヨルダン大学 展示ホール	07.04.04～ 07.04.12	
			イルビット	イルビット市 庁舎	07.04.15～ 07.04.23	
			アルジェ	ソフィテル・ アルジェ	07.11.18～ 07.11.30	
			アクラ	国立博物館 ギャラリー	07.10.01～ 07.10.13	
			コナクリ	国立博物館	08.03.04～ 08.03.17	
			ナイロビ	在ケニア日本 国大使館広報 文化センター デイスター大 学（バレー ロードキャン パス）	07.08.13～ 07.08.27  07.08.29～ 07.09.10	
19	日本の現代写 真展	ドイツ  ウズベキスタ ン  リトアニア	ケルン	ケルン日本文 化会館	07.09.07～ 07.11.16	「1970年代から今日までの現代日本に 暮らす人々とそれをとりまく風景」を テーマに、森山大道、東松照明、荒木 経惟ら23名の写真家による、計76点の 作品を紹介
			タシケント	ウズベキスタ ン芸術アカデ ミータシケン ト写真美術館	08.02.14～ 08.03.07	
			カウナス	M.K.チュリ リョーニス国 立美術館管轄 M.ジリンス カス・ギャラ リー	07.05.04～ 07.06.03	
			ビリニュス	マルティーナ ス・マジュ ヴィーダス・ リトアニア国 立図書館ギャ ラリー	07.06.07～ 07.06.30	
			ウクメルゲ	ウクメルゲ民 俗学博物館	07.07.05～ 07.07.26	
			パネヴェジエ ス	ガブリエル・ ベッケンツァ イテ・ピーテ 公立図書館 ギャラリー	07.08.01～ 07.08.22	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
20	パラレル・ニッポン 現代日本建築 1996-2006展	イタリア ドイツ ルクセンブルク イラン	ローマ ケルン ルクセンブルグ テヘラン	国際交流基金 ローマ日本文化会館 ケルン日本文化会館 ルックスエキスポ テヘラン大学 テヘランギャラリー	07.11.07～ 08.01.07 08.01.23～ 08.03.31 07.10.13～ 07.10.21 07.05.31～ 07.06.14	過去10年（1996年-2006年）に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、我国の社会文化状況と対比させながら紹介
21	日本の玩具展	インドネシア パプアニューギニア 米国	ジャカルタ メダン ポートモレスビー グアム	ジャカルタ日本文化センター 北スマトラ大学 パプアニューギニア大学図書館 グアム大学イスラセンター	08.01.09～ 08.01.28 08.02.12～ 08.02.16 07.11.01～ 07.11.14 07.08.16～ 07.09.28	古くは中国、朝鮮半島から伝来した伝統玩具、近世以降全国各地で生まれた郷土玩具、季節の年中行事に因んだ玩具、木や竹など身近な素材を使った玩具、近現代の玩具など日本の様々な玩具110点を紹介
22	武道の精神展	カナダ	トロント モントリオール ロサンゼルス	国際交流基金 トロント日本文化センター フロントナック文化会館 日米文化会館	07.11.27～ 08.02.26 08.03.12～ 08.04.06 07.09.15～ 07.11.10	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
23	日本のポップカルチャー					2000年代に活躍を始めた若手作家の作品を中心に、日本のポップカルチャーを背景として生まれた現代芸術を紹介する展覧会を制作

催し等事業費	(4) 海外展（助成）
--------	-------------

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 40,767,885 円

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
1	Hiroshi Sugimoto: History of History	カナダ	トロント	Royal Ontario Museum Institute of Contemporary Culture Gallery	Royal Ontario Museum	07.06.02～ 07.08.19	リベスキント設計のオンタリオ美術館新ギャラリー完成記念として、2003年日本から巡回開始した杉本博司「History of History」展を開催。

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
2	Japan Envisions the West: 16th-19th Century Japanese Art from Kobe City Museum	米国	シアトル	Seattle Art Museum	Seattle Art Museum	07.10.11～ 08.01.06	神戸市美術館所蔵の南蛮画や紅毛画、地図142点とシアトル美術館所蔵の21点を通して、近代以前の日本人作家が、どのように西洋の美術や文化を理解していたかを探る展覧会。
3	2007 Terrace Garden Exhibit, " A Sense of Place" , US Botanic Garden, Washington, DC	米国	ワシントン	Terrace of the Natioal Conservatory on the National Mail in front of the US Capitol Building on Ondependence Avenue	Japanese Garden Society of Oregon	07.05.24～ 07.10.08	ワシントンDCで開催される米国公共庭園協会（APGA）の全国総会と併せて、合衆国植物園の大温室で開催される「米国の名庭園10選」展で「ポートランド日本庭園」を紹介。
4	Murakami	米国	ロサンゼルス ニューヨーク ビルバオ フランクフルト・アム・マイン	The Geffen Contemporary at MOCA Brooklyn Museum of Art Guggenheim Museum fur Moderne Kunst	The Museum of Contemporary Art, Los Angeles	07.10.29～ 08.02.11 08.04.04～ 08.07.13 09.04.01～ 09.07.31 08.10.01～ 09.01.31	1989年から現在に至るまでの村上隆の活動と現代美術への影響を検証する回顧展。
5	International Encounter: Medellin 07/ Contemporary Artistic Practices	コロンビア	メデリン	French Colombian Aliance etc.	Antioquia Museum	07.04.01～ 07.06.30	コロンビア第2の都市メデジンで、内外の90名のアーティストを招いて開催される国際展。日本の西野達郎（ドイツ在住）に滞在制作を依頼。
6	FOUJITA AND KAMINAGAI IN BRAZIL	ブラジル	サン・パウロ ブラジリア	Centro CulturalBanco do Brasil	EXPOMUS-EXPOSICOES, MUSEUS, PROJETOS CULTURAIIS LTDA	08.03.11～ 08.06.01	藤田嗣治（1886-1968）と上永井正（1899-1982）のブラジル滞在中の作品（油彩及びドローイング）70点を紹介する展覧会。

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
7	RINKO KAWAUCHI	ブラジル	サン・パウロ	MAM- MUSEU DE ARTE MODERNA DE SAO PAULO	MAM- MUSEU DE ARTE MODERNA DE SAO PAULO	07.07.19～ 07.09.23	2008年日系移民移住100周年関連事業。サンパウロ近代美術館の委嘱を受けた写真家の川内倫子がブラジル各地の日系人社会を訪問して制作した作品を展示。
8	Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa/ SANAA architects- Tokyo & Walter Nierdmayr Photographer Bolzano	フランス	ボルドー	arc en reve centre d'architecture	arc en reve centre d'architecture	07.06.14～ 07.10.28	ボルドーにおいて、建築家ミシェル・ジャックのキュレーションにより、模型、図面、スケッチのほか写真家が撮影した写真などにより展覧会を実施した。S A N A A の作品と活動を総合的に紹介。
9	The 1st International Architecture Triennale of Lisbon 2007	ポルトガル	リスボン	Portuguese Pavilion	Portugal Institute of Architects (South Region section)	07.05.31～ 07.07.31	ポルトガルがEU議長国となるのに合わせて、国際的に関心の高い建築に関するトリエンナーレの第1回展を、リスボンにおいて挙行。日本セクションのキュレーターは五十嵐太郎。
10	Ishiuchi Miyako: Photographic work	チェコ	プラハ	LANGHANS GALERIE PRAHA	LANGHANS GALERIE PRAHA	07.04.02～ 07.05.29	Machiel Botman(オランダ)のキュレーションによる、石内都の写真作品(プリント約120点)を回顧する展覧会
11	Japanese Participation in the 10th international Istanbul Biennial ” Not Only Possible But Also Necessary”	トルコ	イスタンブール	AKM, IMG, Antrepo, Santral Istanbul	ISTANBUL FOUNDATION FOR CULTURE AND ARTS	07.09.08～ 07.11.04	国際美術展であるイスタンブールビエンナーレの第10回。キュレーターはホーハンルー。日本からはアトリエワン、篠田太郎、木村太陽、米田知子などの作品が参加。
12	Choi Young- rim & Munakata Shiko	韓国	ソウル	National museum of Arts, Deoksugung	The National Museum of Contemporary Art, Korea	08.01.22～ 08.03.30	棟方志功とその韓国人弟子であった崔榮林の二人展。伝説、神話等伝統的モチーフをモダンな作品を制作した2人の作品約120点で構成。

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
13	Move on Asia 2007-Single Channel Video Art Festival	韓国	ソウル	Alternative Space LOOP	ALTERNATIVE SPACE LOOP	07.11.09～ 07.12.07	テクノロジーとデジタル化が引き起こす様々な問題に焦点をあて、テクノロジーが現代社会の中で働く機能について問いかける展覧会。日本から小林耕平ら若手作家6名の9作品が出品された。
14	2007 Heyri Asia Project II Japanese Contemporary Art Festival	韓国	坡洲	ヘイリ芸術村	Committee of Heyri Asia Project	07.07.03～ 07.07.29	ヘイリ芸術村で毎年開催される現代美術展。2006年の中国特集に続き、2007年は日本を特集し、現代美術作家40名のほかに、音楽、アニメーション等も総合的に紹介。
15	Get it Louder 2007	中国	広州 上海 北京	GRANDVIEW MALL DANING LIFE HUB SOHO SHANGDU	Alternative Archieve	07.06.23～ 07.07.08 07.07.21～ 07.08.04 07.08.16～ 07.09.01	デジタル時代の都市生活をテーマ横断的に紹介する大規模な展覧会。日本からはアトリエワン、小金沢健人、名和晃平、さわひらきなど10名が出品。
16	Our Voices	中国	香港	Hong Kong Visual Arts Centre Hong Kong Fringe Club	One Minute Before	07.05.19～ 08.05.28  07.05.19～ 07.05.19	日本、香港、フランス、ドイツ、台湾のアーティストによる「声」をテーマに、現代美術、映像、パフォーマンスなどを複合した企画。日本からは5名の作品が出品された。
17	black robe, white mist: the art of the Japanese Buddhist, nun Otagaki	オーストラリア	キャンベラ	National Gallery of Australia	National Gallery of Australia	07.09.07～ 08.01.27	江戸時代後期（19C）の尼僧・女流歌人太田垣蓮月の海外初の陶器、短歌集、書、絵画を含む約80点の展覧会。この展覧会に伴い、蓮月の作品や人生に関する初の英語出版物も発行。
18	Experimenta Playground	オーストラリア	メルボルン	Blackbox, the Arts Centre	Experimenta Media Arts	07.08.24～ 07.09.23	メディアートのビエンナーレ。今回は相互性のあるスクリーン作品に焦点を当てた。
19	Making a Home : Japanese Artists in New York	米国	ニューヨーク	Japan Society	Japan Society, Inc.	07.10.05～ 08.01.31	ニューヨークジャパンソサエティ創立100周年を記念しニューヨークを拠点に活躍する日本人現代美術家33名を紹介するグループ展。キュレーターは、エリック・シャイナー（Art Asia Pacific誌上級編集者）。

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
20	Ike Taiga and Tokuyama Gyokuran: Japanese Masters of the Brush	米国	フィラデルフィア	フィラデルフィア美術館	Philadelphia Museum of Art	07.05.01～ 07.07.22	東京国立博物館の特別協力を得て、文人画（南画）の大成者である池大雅とその妻・徳山玉欄の、国宝、重要文化財を含む200余点を展示。
21	Drama and Desire: Japanese Paintings from the Floating World 1690-1850/ Arts of Japan: The John C. Weber Collection	米国	ボストン	Museum of Fine Arts, Boston	Museum of Fine Arts, Boston	07.08.27～ 08.01.13	日本国外で随一の日本美術コレクションを誇るボストン美術館で、館所蔵の肉筆浮世絵の展覧会と、ニューヨーク在住の世界的な日本美術収集家の所蔵作品展を開催し、シンポジウムと講演会を実施。
22	Mirror of the Floating World: New Reflections on Japanese Paintings, Prints and Illustrated Books 1680-1860	米国	ニューヨーク	Asia Society Museum	Asia Society	08.02.26～ 08.05.25	北米各地の個人収集家・美術館等が所蔵する肉筆・木版の浮世絵200余点によって構成される名品展。
23	Design: Isamu Kenmochi and Isamu Noguchi	米国	ロング・アイランド	The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum	The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum	07.09.20～ 08.03.16	1950年代初めに剣持勇とイサム・ノグチによってデザインされた作品約50点を紹介し、戦後日本のデザイン界にノグチが与えた影響と、「ジャパニーズ・モダン」を提唱した剣持の世界的な貢献について振り返った。
24	Competition & Collaboration: Prints of the Utagawa School, exhibition catalogue	米国	マディソン	Chazen Museum of Art	Chazen Museum of Art at the University of Wisconsin-Madison	07.11.02～ 08.01.06	建築家フランク・ロイド・ライトが収集した日本版画を中心とするチェイゼン美術館ヴァン・ヴレック・コレクションの中から約200点の歌川派木版作品を紹介。ローラ・ミュラー監修。



## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
25	Yasumasa Morimura - Requiem for the XX Century	イタリア	ヴェニス	PIAZZA SAN MARCO	Institution Bevilacqua La Masa Foundation	07.06.07～ 07.10.08	ベネチア・ビエンナーレ美術展開幕時に、森村泰昌の最新シリーズ「レクイエム」の展示および回顧展を実施。
26	Tatsumi Orimoto "Wandering in Roma"	イタリア	ローマ	Associazione Culturale Sala 1	Associazione Culturale Sala 1	07.05.15～ 07.09.19	折元立身を派遣し、ローマでは作家初となる写真展(「アート・ママ」シリーズ)およびローマ市中でのパフォーマンスを実施。
27	Hiraki Sawa Dollhouse	英国	ロンドン	Chisenhale Gallery	Chisenhale Gallery	07.09.04～ 07.10.16	ロンドン在住ビデオアーティスト、さわひらきの個展。ドールハウスに啓発された作家が、9本のサイトスペシフィックなビデオ作品を制作し、同時に上映。
28	East Weaves West: Basketry from Japan and Britain	英国	グラスゴー ワイト島 ホーブ ノルトヴェルデ	Collins Gallery Michael West Gallery Hove Museum Nat-Vlecht Museum	Collins Gallery	07.07.07～ 07.08.18 07.09.01～ 07.12.24 08.01.18～ 08.05.02 08.01.18～ 08.08.28	日英のバスケットリー作家による作品展。日本から招聘される作家は関嶋寿子等22名。バスケットリーのみの展覧会としては、英国で最大規模。
29	Exhibition SANAA, Kazuyo Sejima + Ryue Nishizawa	スウェーデン	ストックホルム	ARKITEKTUR MUSEET	Arkitekturmuseet, Stockholm	07.05.15～ 07.08.19	日本を代表する建築家であるSANAAの展覧会。SANAAの監修により、模型、プロダクツ、図面等を展示。
30	A Private History- An Exhibition of Contemporary Japanese Photographers	デンマーク	コペンハーゲン	Fotografisk Center	Fotografisk Center (The Photographic Centre)	07.09.29～ 07.11.11	日本の若手写真家4名のグループ展。東京都写真美術館のキュレーターの協力を得て、「個人的な生活」を対象として写す写真家の写真を展示。鷹野隆大、原美樹子など。
31	The Full Emptiness	ドイツ	ウォルズブルグ	Kunstmuseum Wolfsburg	Kunstmuseum Wolfsburg	07.09.21～ 08.01.27	日本文化が西欧に与えた影響を、日本と西欧のアーティストの作品を対峙して展示することによって明らかにする展覧会。

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
32	KATACHI - Contemporary Japanese Applied Arts between Crafts and Industry	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	Museum of Applied Arts Frankfurt	Museum of Applied Arts Frankfurt	07.05.03～ 07.08.26	日本の伝統工芸作品とインダストリアルプロダクツ、更に隈研吾による茶室を展示し、日本のデザインを伝統、現代、建築を通して紹介する展覧会。
33	GENERATOR	ノルウェー	トロンヘイム	Park in the city center	Trondelag Center for Contemporary Art	07.06.17～ 07.09.30	屋外の公共スペースにて作品を制作したプロジェクト。日本からは川俣正が参加。
34	THE URBAN BUBBLE- New Directions in urbanism from Japan	ハンガリー	ブダペスト	Exhibition & Workshop (Venues)	KEK - Hungarian Contemporary Architecture Centre	08.03.04～ 08.04.05	東欧では初めてとなる、アトリエ・ワンの建築展。展覧会と同時に、若い建築家向けのワークショップを実施。
35	JAPANESE ART INSPIRATION IN STANISLAW WYSPIANSKI PAINTING -POLISH JAPONISM-	ポーランド	クラクフ	Manggha Centre of Japanese Art and Technology	THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHNOLOGY "MANGGHA"	07.10.09～ 08.01.13	スタニスワフ・ヴィスピアンスキの死後100年を記念して、ヴィスピアンスキの作品が歌川広重や葛飾北斎等から、どのような影響を受けたかを検証する展覧会。
36	Merida in Yucatan, City of Sculpture	メキシコ	メリダ	Montejo Boulevard and Sculpture Passageway	Macay Cultural Foundation	07.04.02～ 08.02.02	ユカタン州メリダが5年前から毎年実施している「彫刻の街」事業の一環として開催される屋外展。2007年の招待国は日本で、出品作家は草間彌生、三島喜美代、遠藤利克など。
37	Estuaire Nantes Saint-Nazaire 2007	フランス	ナント		Le Lieu Unique	07.06.01～ 07.09.02	ナントからサン・ナゼールまでの約60キロにわたるロワール河岸周辺に作品を設置する大型アートプロジェクト。日本からは川俣正、西野達郎、丸山欣也が参加。
38	FIGURAL PAINTING OF EAST ASIA	チェコ	プラハ	ZBRASLAV CHATEAU	The National Gallery in Prague	07.03.17～ 07.06.18	国立美術館、ナープルステク博物館、ロウニー美術館のコレクションから選定された、東アジア（日本、中国、韓国）の歴史的な人物画を展示。巻物、冊子、グラフィック等180点による構成。

## 造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	団体	期間	事業内容
39	documenta 12	ドイツ	カッセル	Museum Fridericianum ほか市内各地	documenta und Museum Fridericianum Veranstaltungs GmbH	07.06.16～ 08.09.23	ドイツ・ヘッセン州の古都カッセルで1955年以来、5年おきに行われている、国際現代美術展。田中敦子、青木陵子作品が出品された。

### 催し等事業費 (5)国内展 (助成)

海外の優れた美術・文化の中で、これまで日本に紹介される機会の少なかった諸外国の優れた美術・文化を紹介するものに対し、経費の一部を助成する。

合計額 8,900,000 円

	事業名	国	関連機関名称	都市	期間	事業内容
1	近代上海の美術展	中国	近代上海の美術展実行委員会	大阪市	07.09.04～ 07.10.14	1840年代から1930年代までの約100年間、上海で活躍した作家の美術作品を総合的に紹介
2	インドネシア更紗のすべて伝統と融合の芸術	インドネシア	株式会社 朝日新聞社	三島市 町田市	07.06.02～ 07.10.20	戸津正勝氏所蔵のバティック・コレクションから350点とさらにインドネシアの博物館から50点を借用し、19世紀から現代に至るまでのインドネシアの代表的工芸であるバティックを展示
3	第23回東川賞受賞作家作品展	タイ	東川町写真の町実行委員会	北海道その他	07.07.28～ 07.08.28	日タイ修好120周年を記念してタイの写真家が海外作家賞を受賞した国際写真賞東川賞の受賞作家による展覧会及びフォーラムを開催
4	東京写真月間2007 アジアの写真家たちインド	インド	社団法人 日本写真協会	23区	07.05.19～ 07.06.13	「東京写真月間」の一環として写真展を開催し、講演会とセミナーも同時実施
5	メルティン グ・ポイント	ブラジル 英国	東京オペラシティ文化財団	23区	07.07.21～ 07.10.14	固体が融解し、液体化する温度である「融点」というタイトルに異なる二つのものが同時に存在する瞬間・場を表象させ、感覚に強く訴えかける作品を、サイト・スペシフィックなインスタレーションにより紹介
6	亜細亜太平洋水墨画公募展 (日本国際水墨藝術展)	全世界区分困難	亜細亜太平洋水墨画会	23区	08.01.22～ 08.02.04	広く世界から水墨に関する美術作品を招待、公募する展覧会

	事業名	国	関連機関名称	都市	期間	事業内容
7	北九州国際ビエンナーレ'07	全世界区分困難	特定非営利活動法人 アートインスティテュート北九州	北九州市	07.09.28～ 07.10.31	北九州市門司港周辺の歴史的建築物等を再利用し、同地を新しいアートの実験都市として再生させることを目的とした新規の国際展
8	GOTH 逸脱する世界のリアリティ	全世界区分困難	財団法人 横浜市芸術文化振興財団	横浜市	07.12.22～ 08.03.26	アートの領域における「ゴス/ゴシック」的要素を大勢的な価値観や既成の枠から逸脱する価値観を示す象徴としてとらえ、自身の身体や皮膚に投影し社会や自己の内面を表現しようとする作家たちの活動を紹介
9	スペース・フォー・ユア・フューチャー アートとデザインの遺伝子を組み替える	全世界区分困難	東京都現代美術館	23区	07.10.26～ 08.01.20	新しいコミュニケーション・スペースの創造をテーマに、建築、ファッション、デザインなど異なった領域を横断しながら表現活動を行っている内外のアーティスト23名を紹介
10	ICC+S-AIR 2007 創造拠点交流事業	全世界区分困難	特定非営利活動法人 S-AIR	札幌市	07.07.20～ 07.12.15	台北アーティスト・ビレッジ（台湾）、ベアラクアラマサ（イタリア）、バンフアートセンター（カナダ）、IAMAS（日本）といった国内外の「創造拠点」との間で、クリエイターやアーティスト、コーディネーターの人材交流を実施

催し等事業費	(6)造形美術情報交流(催し)
--------	-----------------

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 3,596,687 円

	事業名	国	期間	事業内容
1	アジア次世代キュレーター会議	フィリピン	08.03.11～ 08.03.13	第3回目となるアジア次世代キュレーター会議をマニラ（フィリピン）で開催し、日本を含むアジアの美術館状況について意見交換を実施
2	Musica ex Machina—機械じかけの音楽	英国	07.10.20～ 07.12.02	音楽文化における機械の役割をテーマに、イギリス人アーティストのマーティン・リッチズ（Martin Riches、1942-）の作品群を中心に展示し、機械と音楽との歴史的な関係の分析やその展望について紹介
3	H20日伯交流年記念日本古美術展協力（準備）	ブラジル	07.04.01～ 08.03.31	2008年に開催される日伯交流年記念日本古美術展に対し翻訳協力を実施

## 造形美術事業費

催し等事業費（トリエンナーレ）	(1)国際展（トリエンナーレ）
-----------------	-----------------

大規模な国際美術展を日本国内において定期的に開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する。

合計額 7,605,970 円

	事業名	共催団体	期間	事業内容
1	横浜トリエンナーレ 2008（準備）	横浜市 NHK 朝日新聞社	07.04.01～ 08.03.31	横浜トリエンナーレ2008の開催準備を実施。開幕1年前の11月には総合ディレクターとキュレーターが集まり、国際シンポジウム「国際展にいま問われているもの」を開催。